

教科	農業	科目	食品流通	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	ビジネス
使用教科書	食品流通(実教出版)			使用副教材等	ワークシート、視聴覚教材				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品の流通とマーケティングに必要な資質・能力を育成することを目指す。 本校で生産している農産物と関連付け、食品流通に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。また、食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	食品流通に関する基本的・体系的な知識を身につけ、コスト管理やマーケティングの必要性を理解できている。	食品流通の諸課題の解決を目指して思考を深め、食品流通と経営管理を適切に判断し、改善ができるよう、化学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	食品流通に関する基礎的な内容について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	・定期考査(ペーパーテスト) ・小テスト ・ワークシート	・定期考査(ペーパーテスト) ・小テスト ・ワークシート	・ワークシート・ループリック ・座学、グループワークへの取り組みの観察

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・座学が中心となり、生産・流通・販売について考えることが多い授業となります。 ・実際に校内で生産される農産物や、自分たちの生活と関連づけるとともに、流通に関する基礎的な内容をしっかりと身につけ、自らが経営者や流通の一端を担うものとしてコスト管理やマーケティングについて考える力を身につけられるよう、頑張ってください。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 5 7	○オリエンテーション (授業の進め方や必要な教材等に関する諸注意、評価の仕方について理解する) え 第1章 現代生活と食品流通 1 流通の始まりと発展 2 流通の働き 3 食品流通の役割	【知識・技術】 ・流通とその働きについて、食品の流通・保管と物流について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・食品流通について学習した内容を、自分たちの生活と関連付けて考え、諸課題の解決を目指して思考を深め、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的な態度】 ・食品の流通・保管と物流について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	2 9 1 2	第2章 経済活動と食糧 1 経済発展と食料消費 2 世界の食糧事情 3 日本の食生活、食料需要と自給率 4 わたしたちとりまくフードシステム	【知識・技術】 ・流通とその働きについて、食品の流通・保管と物流について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・食品流通について学習した内容を、自分たちの生活と関連付けて考え、諸課題の解決を目指して思考を深め、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的な態度】 ・食品と消費の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
3	1 5 3	第3章 食品流通のしくみと働き 1 食品流通の特徴 2 食品流通のしくみ 3 価格の形成と流通経費 第4章 主な食品の流通 1 米の流通 3 青果物の流通	【知識・技術】 ・食品流通のしくみと働き、主な食品の流通について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・食品の流通のしくみと働き、米や野菜といった身近な食品の流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的な態度】 ・食品流通のしくみと働き、米や野菜といった身近な食品の物流について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。